

陶芸教室

# Q & A

寮務主事の上原先生と  
専攻科2年生の松高さんに  
答えていただきました。

- Q1** 高校時代に悩んだことはどんなことでしたか？
- Q2** どのようにして悩みを解決されましたか？
- Q3** 学生への伝言をお願いします。

## 寮務主事 上原 修一 先生

**A1**

私は、有明高専の卒業生ですから、当時は、皆さんと同様な心理でいたと思います。当時の高専生には、工学に興味があって入学した人も少なからずいましたが、いろいろな事情で、大学ではなく高専を選んだという人も多かったと思います。私もどちらかというと、それに近かったように記憶しています。また、当時は、今のように大学に編入することが容易でなく、そのため大学に対して、複雑な思いを持っていたと思います。劣等感ということでもなく、学力で輪切りにされたわけではないというプライドも持っていました。

**A2**

オイルショックの就職難の中、一度、就職もしましたが、退職して進学（大学編入）しました。安定した職をすべて、浪人し、受験勉強するには、勇気が必要でしたが、当時の高専の恩師の助言を得て、決断しました。大学・大学院に行って、高専教育のいいところ、悪いところがわかったような気がしました。さらに、その後、米国の大学にも行って、日本の高等教育を客観的に見られるようになった気がします。

**A3**

今の高専生は、自ら高専を選択して来ている人が多いと思っています。昔と比べると、ずっと健全で、すばらしいことだと思います。進路も、多様に広がっています。高専で得られる機会を生かして、自分の進路を開拓してください。

やりたいことがあれば、挑戦すればいいと思います。しっかり準備をして。しかし、最後は「虎穴に入らずんば…」の決断が必要かもしれません。

## 生産情報システム工学専攻 2年生 松高 聰史さん

**A1**

私は本科5年、専攻科で2年の7年間有明高専で過ごしました。この間で一番悩んだことは進路についてです。本科5年になると周りは就職活動をはじめ、着々と内定を取っていました。一方で私は、就職をする気は毛頭なく大学に編入するか、専攻科に行くか悩んでおり、この環境に対する飽きもありました。

**A2**

最終的に専攻科に行くことにしたのですが、その前に一度海外に行くことにしました。高専生は、一般的に英語力が大学生に比べて弱いと言われてあり、私も例外なく英語は大変苦手でした。一度環境を変えることと、英語力を身につけるために一度休学し1年間海外で生活をしました。これにより気持ちを一新して専攻科で頑張ることができました。

**A3**

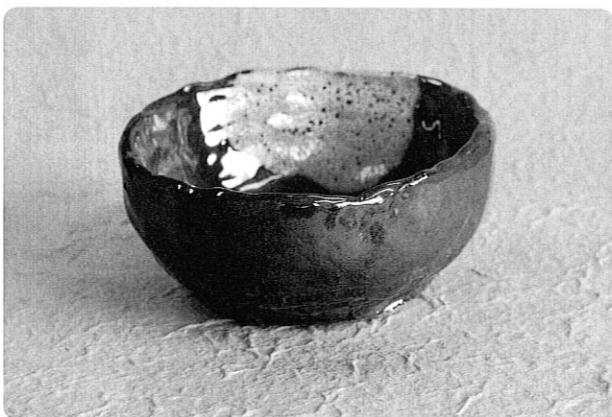
昔読んだ本に書いてあった事なのですが8割達成するための労力と残りの2割を達成し10割にする労力は同じであるとありました。何事にも全力で取り組んすべて達成することは非常に大切なことだと思いますが、とても疲れます。少なくとも私には無理です。そこで私は8割程度を目安としてやるようにしています。もちろんしっかりやらなくてはいけないことはしっかりとやりますし、その上で適度に力を抜いています。力を入れる時と抜く時のメリハリをつければ、余力を残しつつ頑張れるはずです。新5年生は就職活動、他の学生は勉学に頑張りすぎない程度に頑張ってください。



平成21年11月11日（水）の16時30分から18時まで、合同講義室（北）で学生21名、教職員6名が参加し、陶芸教室を開催しました。参加者は土をこねて、手作りのオリジナルマグカップ、湯呑み茶碗、小鉢などを作りました。講師には鶴我賢二郎先生夫妻を招きました。鶴我先生は朝倉郡筑前町にある安野焼の窯元で、これまでに陶芸教室の講師を務めた経験があり、この日も参加者に作品の作り方の要領を分かり易く説明していました。

おしゃべりしながら茶碗を形作る者、ひたすら無口に土を皿に作りあげる学生もいました。短い時間の楽しい手作り作業でした。正月明けに焼き上がった自分のオリジナル作品を手にした学生はご満悦の様子でした。学生の作品は素朴ながらも上々の出来映えでした。

## 学生の作品



## オリジナル作品を手にした学生の感想

- ☆楽しかった。色の希望をとってほしかった。もっと時間をとってほしかった。これからも続けてほしい。
- ☆途中何度も修正しながら作つた自分の皿で食事するのが楽しみです。とても楽しかったです。
- ☆初めての体験でとても楽しかった。作っている途中で最初に思っていたものと大分違うものになってしまったけれど、それはそれで良かつたかなって思っています。
- ☆初めて生の土から器を作つて楽しめました。予想よりすごい完成度だったので驚きました。
- ☆放課後たつた一時間でしたが、楽しく陶芸を行うことができました。作品にならないと思っていたのですが、それなりのものができてよかったです。

## 平成19年度と20年度の学生相談室利用件数

平成19年度と20年度の学生相談室の利用件数は下表の通りです。最近の傾向としては、対人関係、進路、恋愛、病気のことが主な相談内容となっています。困ったことがあれば、1人で悩みを抱え込まずに、相談室を気軽に訪ねてください。お話をするだけでも肩の荷の半分は軽くなります。

項目 年度	進路	家庭環境	恋愛	対人関係	不登校	学業性	格病	気病	精神衛生	いじめ	体形・体質	その他	合計(人)
19年	64	19	22	69	0	18	34	37	65	0	21	8	357
20年	57	20	41	98	4	27	14	32	28	1	8	19	349

## 保健室便り

### 「アレルギー」を知ろう

春になると本校でもアレルギー反応の一つ「花粉症」の訴えが多くなります。アレルギーとは私たちの身体に備わっている「免疫」が、入ってきた異物に対して過敏に働き、様々な症状が出ててしまうことで、突然症状が出たり症状に個人差があります。昨年からの新型インフルエンザの流行で毎日の過ごし方を見直した学生さんも多いでしょうが健やかに過ごす秘訣は同じ。若さを過信せず、規則正しい生活を心掛けましょう。

### 花粉症には・・・

- うがい、手洗い、こまめな掃除、上着は玄関先で軽くはたく。
- 外出時の身支度に気を付ける（マスク、帽子、メガネ、つるつとした上着など）。

## 相談室の場所は…

### ○学生相談室

修己館一階保健室の左となり  
電話 0944-53-8657

### ○カウンセリング室

修己館一階保健室の右となり  
電話 0944-53-8625

### ○徳田教員室

一般教育科北棟三階  
電話 0944-53-8639

### ○坪根教員室

機械工学科棟二階  
電話 0944-53-8688

### ○鮫島教員室

一般教育科北棟三階  
電話 0944-53-8669

### ○原教員室

電子情報工学科棟三階  
電話 0944-53-8719



## 編集後記

今年もメンタルヘルス関連の研修会にいくつか出席した。専門家の講演や現場での相談事例報告を聞いて、支援を必要とする学生のニーズが多様であることが分かった。

学生相談とは、「進路相談」「健康相談」「成績相談」とあると、自分の狭い固定観念で理解していた。ところが、現実の学生相談は、健康な人から症状のある学生まで実に幅広い層の様々な学生が相談室を訪れている。

どこの高専でも相談室を利用する学生は増加傾向にあり、学生が抱えている悩みも多様化している。そのため相談室だけでは対処できず、学内の教職員、保護者、外部機関との連携が必要な事例も数多く報告された。

学生との対話方法、連携の仕方、専門家への橋渡しのタイミングなど、今後も学ぶべきことは多い。2009年度のメンタルヘルスの研修会は貴重な学びの場であった。



有明工業高等専門学校

### 学生相談室便り

## 『微笑み』 第20号

発行日 平成22年2月23日

発行 有明工業高等専門学校  
学生相談室

〒836-8585 大牟田市東萩尾町150  
電話番号 0944-53-8657

